



生徒の意識調査についてお知らせします 長崎県教育方針

国際交流の歴史が息づく①郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや②個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、③我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成を目指す。(以下略)

毎年この時期に、上記_____の部分については、生徒への意識調査が行われます。そこで、今回の学校だよりでは深堀中生の意識調査結果をお知らせします。なお、2年生と3年生については昨年の結果と比較して掲載しています。

質 問 内 容		中1		中2		中3		平均	平均
		R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	
① ふるさとのことを理解し愛情をもっている	肯定	77.8	95.8	▼77.3	100	▼97.1	97.9	▼84.1	
	否定	22.2	4.2	22.7	0	2.9	2.1	15.9	
② 周囲や相手に思いやりをもって生活している	肯定	91.7	100	100	100	100	100	▼97.2	
	否定	8.3	0	0	0	0	0	2.8	
③ 戦争の悲惨さ平和の尊さについて理解を深めている	肯定	88.9	75	△95.5	100	100	87.5	△94.8	
	否定	11.1	25	4.5	0	0	12.5	5.2	
④ パソコンを使った学習に意欲的に取り組んでいる	肯定	69.4	87.5	△90.9	97.0	▼91.1	92.3	▼83.8	
	否定	30.6	12.5	9.1	.3	8.8	7.8	16.1	

(昨年度と比較し肯定意見が増加には△、減少には▼を記しています)

【考察及び関連項目に対する学校教育の取組】

- ①の郷土愛に関しては14%ほど減少しています。1年生は、県から配布された郷土学習資料「郷土長崎」を社会科の授業を始め、様々な場面で活用することにより、郷土についての教育の充実を図ります。2年生は、職場体験学習で地域の事業所で職業観を養い、地域で働く方々から多くのことを学びます。また、今年は4年ぶりに校内ペーロン大会の実施を予定していますので、どの学年においても地域の伝統にじかに触れ、改めて地域の良さを発見する機会となります。
- ②の人権教育の基本である相手への思いやりに関しては、1年生の意識は低いようです。生徒の発達段階を踏まえ、教育活動全体を通して人権尊重の精神を育む実践を行います。
- ③平和教育に関しては、全体としては7%ほど上昇しています。1年生は、被爆遺構めぐりのフィールドワークを中心に被爆の実相を、2・3年生も戦争の構造や平和な社会の創造に向け、それぞれ学びを深めていきます。また、被爆体験講話を聞く機会を設定していますので、戦争や原爆の悲惨さ、生命の尊重について学ぶ取組を行います。
- ④のパソコンを使った学習に関しては、1年生がまだパソコンの操作にまだ不慣れなこともあるのか低い数値を示していますが、2・3年生は定着してきたことがわかります。GIGAスクール構想により1人1台のパソコンが整備されたことで、学校での使用頻度は年々高まり、またオンライン学習が進みました。今後もさらに使用方法や学習の幅を広げていきます。